

認知症疾患医療センター実績報告

磐田市立総合病院
認知症疾患医療連携協議会
2022年12月

認知症疾患医療センター

認知症疾患医療連携協議会

地域の保健医療・介護関係機関等との連携体制を強化していくために年1回に関係職種が集う協議会を開催する。

認知症のある人の意見が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す。

施策推進の7つの柱

認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進

I 普及・啓発

II 医療・介護等

III 若年性認知症

IV 介護者支援

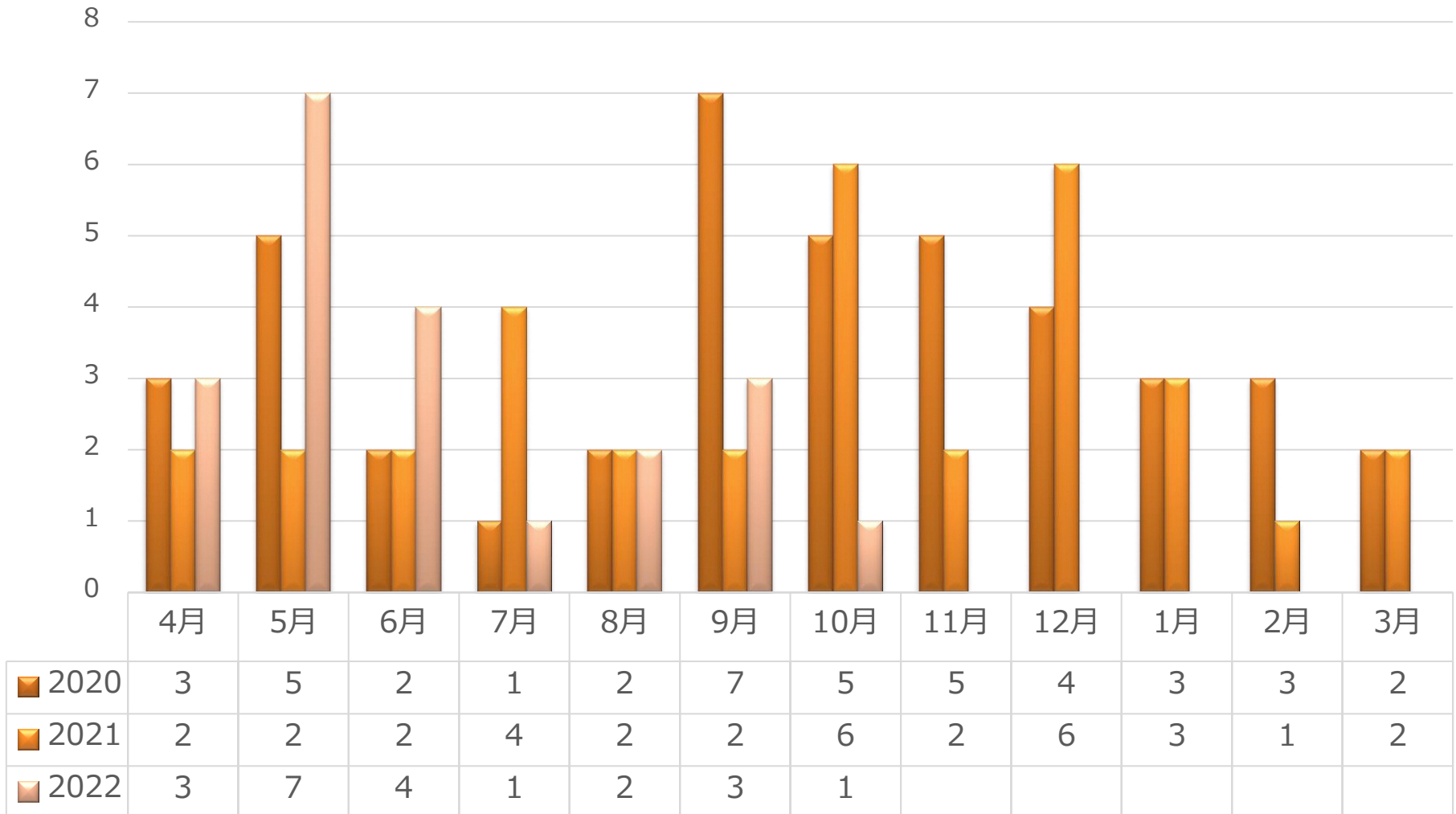
V 地域づくり

VI 研究開発

VII 認知症の人やご家族の視点の重視

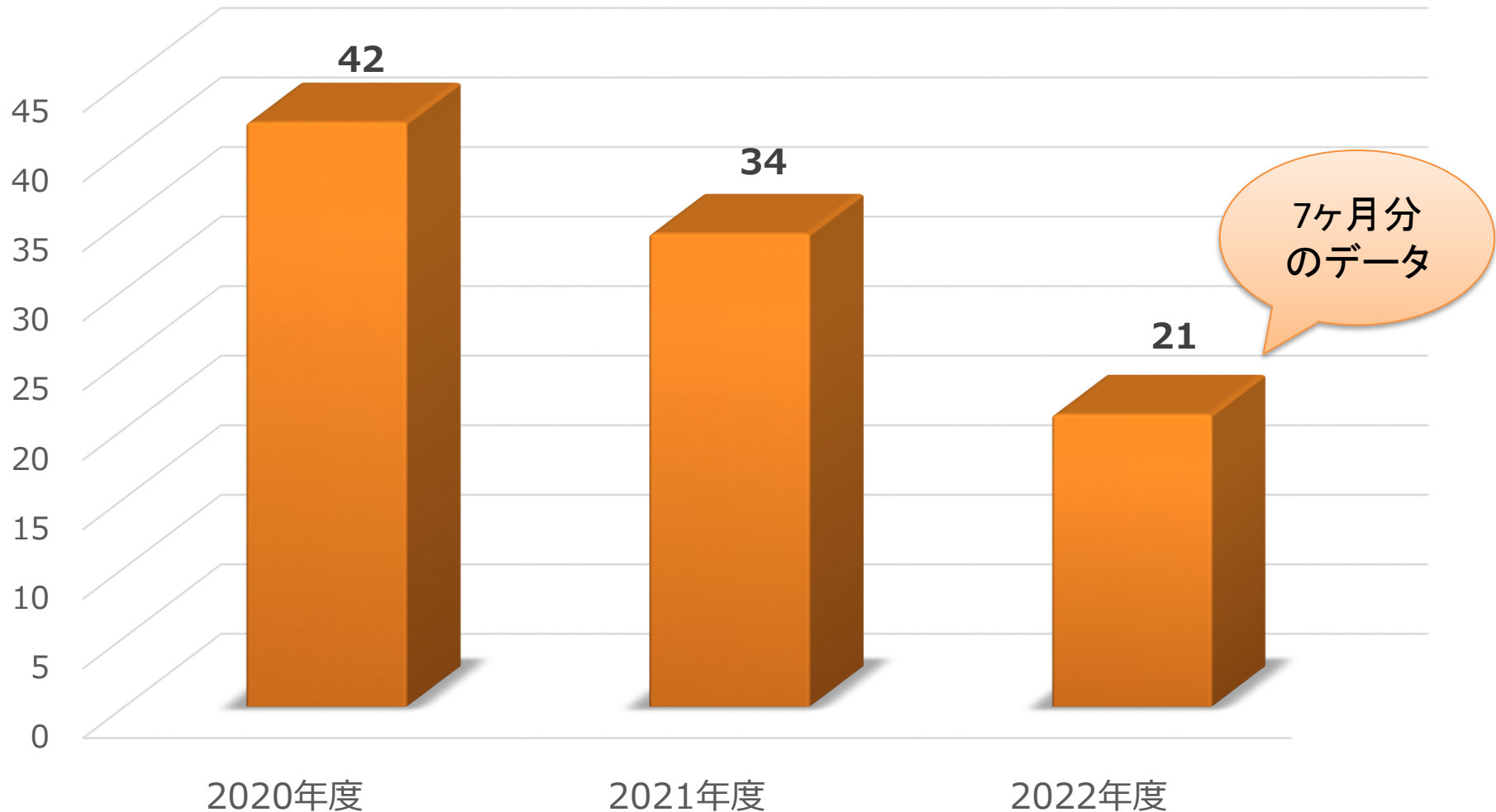
鑑別診断の件数

2020年度の鑑別診断件数は42件、2021年度は34件であった。
2022年度については2022年10月までで21件であった。



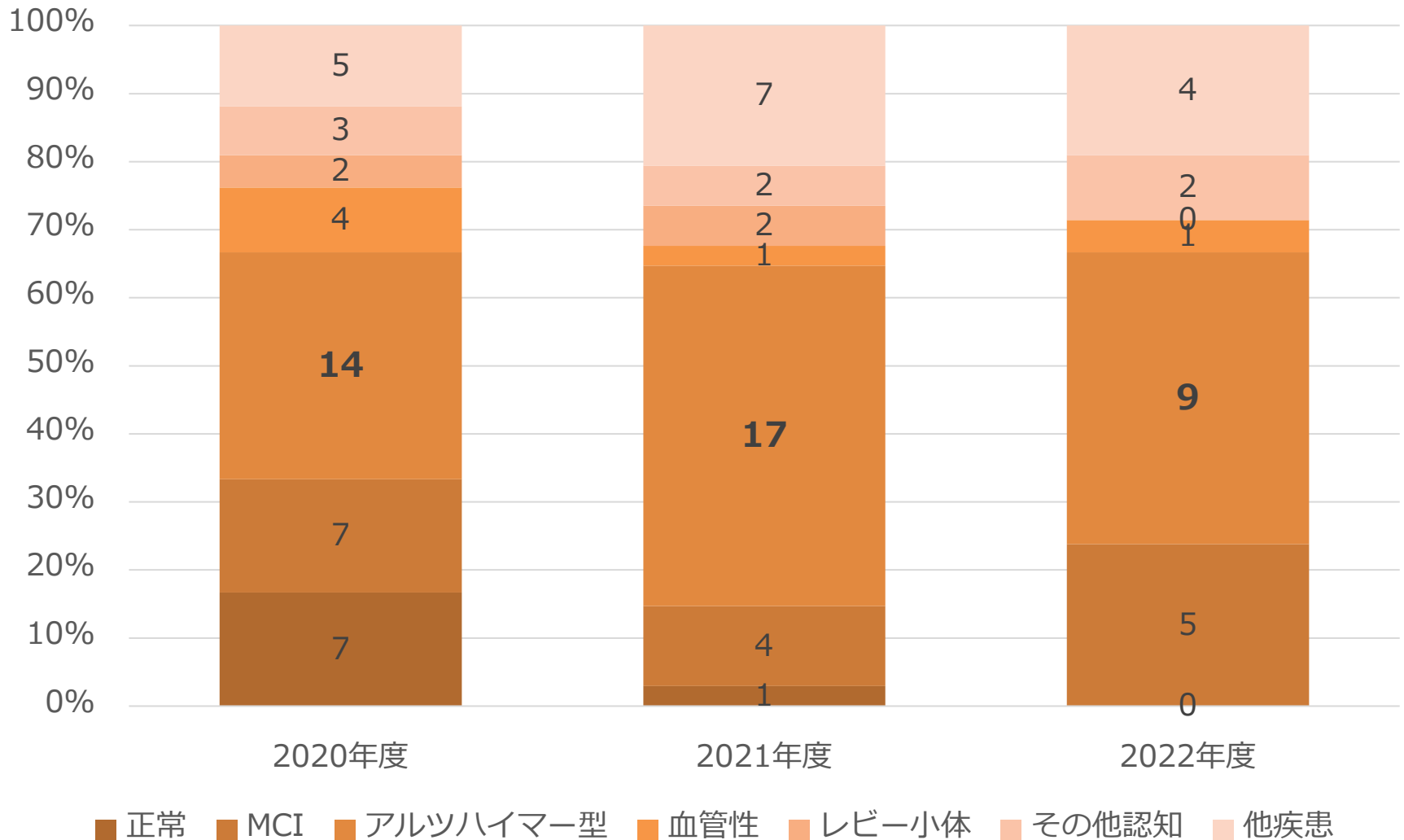
鑑別診断の件数の推移

鑑別診断の件数は徐々に少なくなっている。



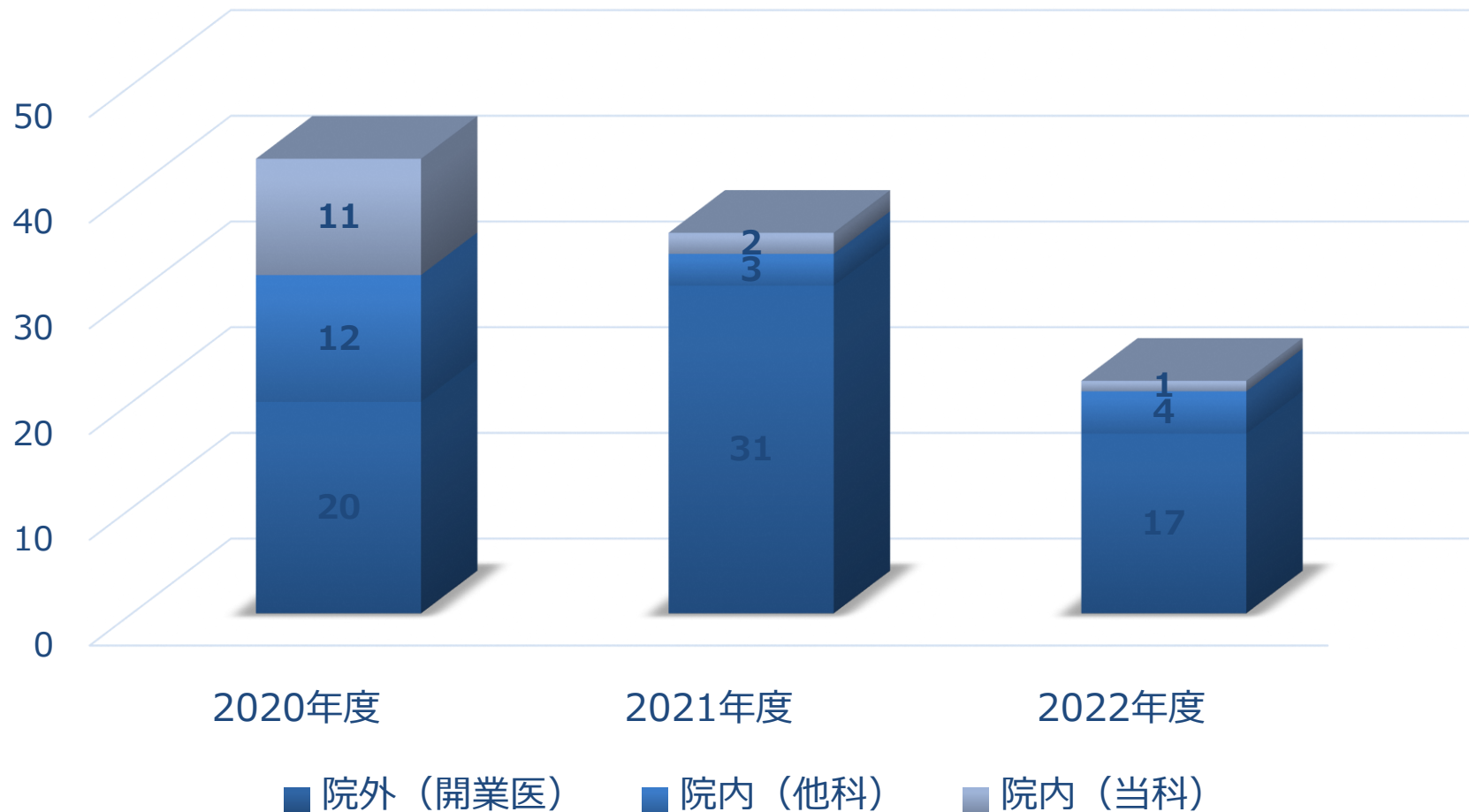
鑑別診断の結果

アルツハイマー型認知症の診断が最も多い。



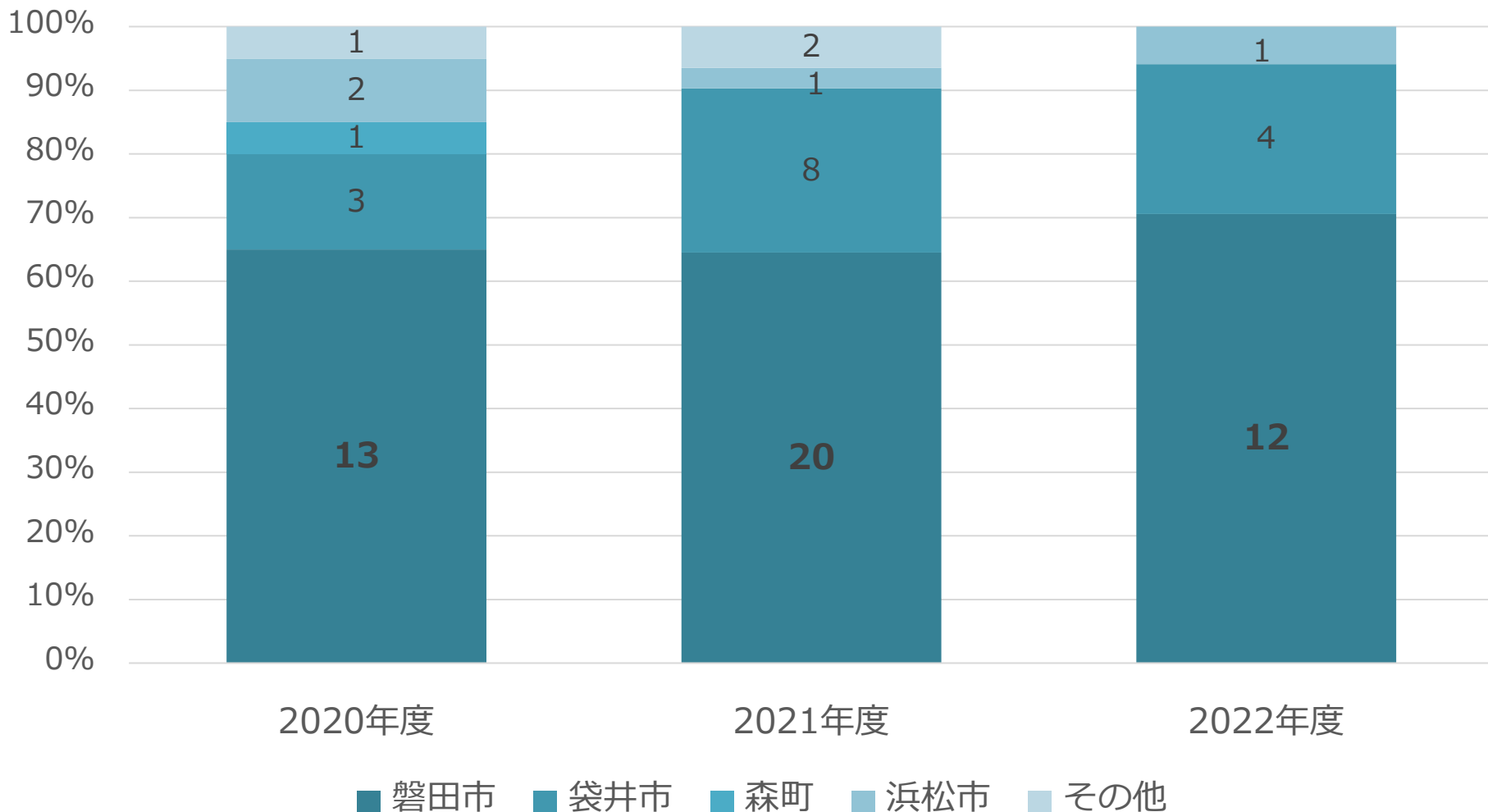
認知症外来への紹介元の状況

紹介件数は2020年度42件、2021年度36件、2022年度22件であった。
全体の紹介のうち院外からの紹介は約7割であった。



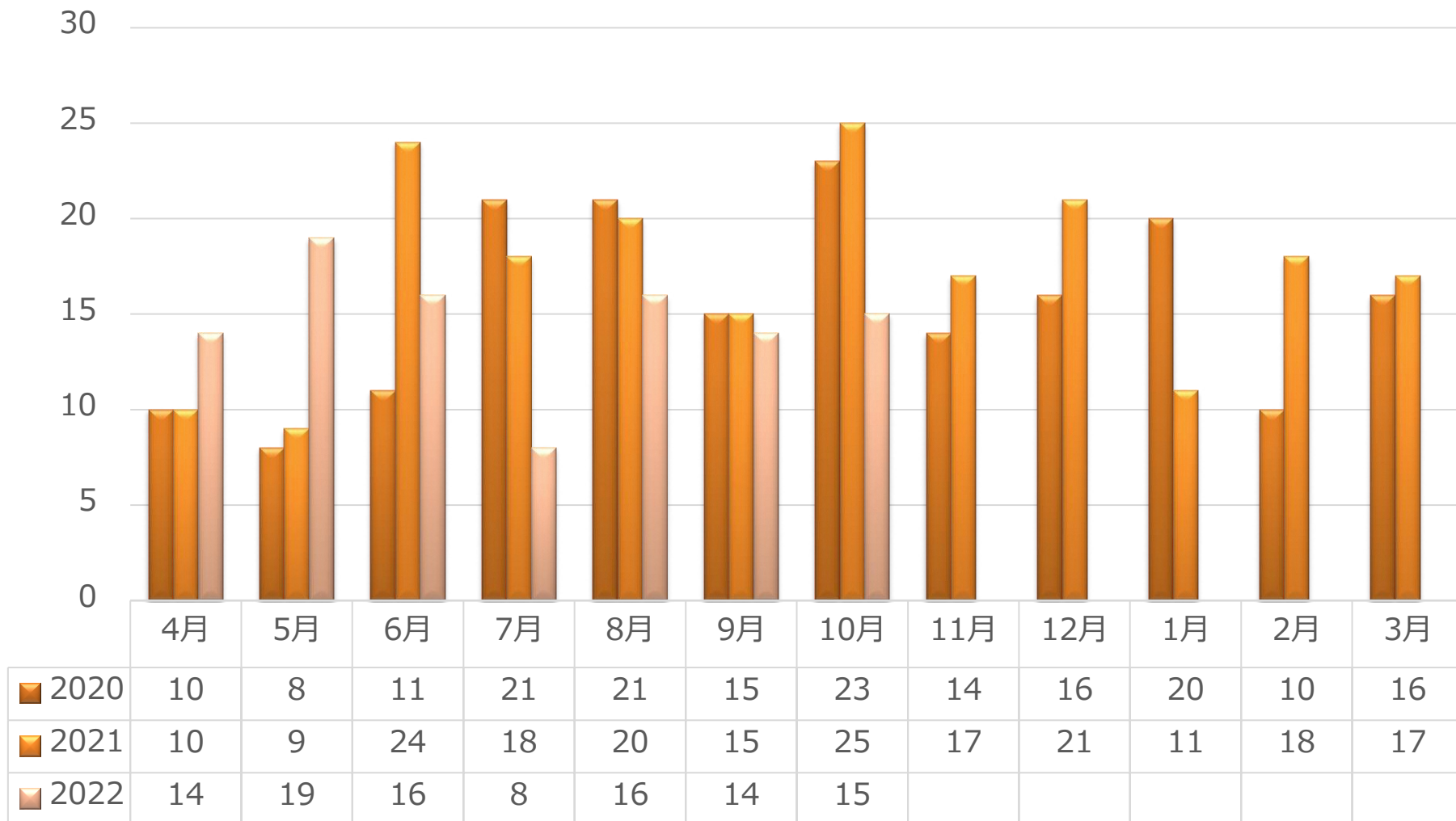
院外からの認知症外来への紹介元の状況

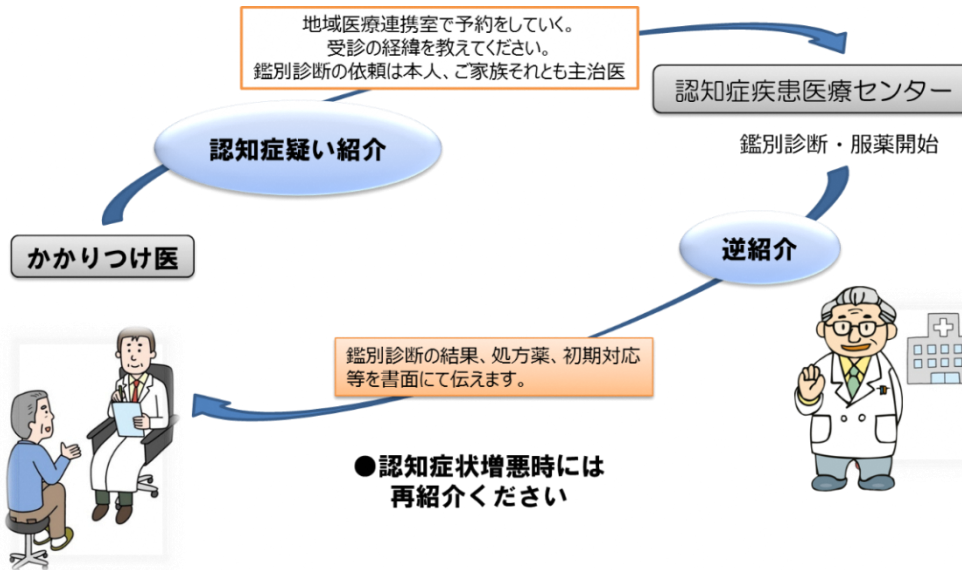
院外からの紹介件数は、2020年度20件、2021年度31件、2022年度17件であった。
県外からの紹介で認知症の継続支援で紹介を受けることもある。



相談の件数

2020年度の相談件数は電話・面談含めて185件、2021年度は205件であった。
2022年度については2022年10月までで105件であった。





該当する方に
『認知症療養計画書』
(診断結果、認知機能検査、
必要な介護サービス等)

認知症療養計画書

初回 継続

鑑別診断結果	<input type="checkbox"/> MCI(軽度認知障害)	<input type="checkbox"/> アルツハイマー型認知症	<input type="checkbox"/> 血管性認知症
	<input type="checkbox"/> レビー小体型認知症	<input type="checkbox"/> 前頭側頭型認知症	<input type="checkbox"/> その他()

I. 症状			
認知障害 (HDS-R, MMSE等)	<input type="checkbox"/> HDS-R【 /30点】	<input type="checkbox"/> MMSE【 /30点】	<input type="checkbox"/> その他()
	高齢自立度 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M		
生活障害	寝たきり度 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2		
行動・心理症状 (BPSD)	<input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 暴言・暴力 <input type="checkbox"/> 抑うつ <input type="checkbox"/> 不眠・興奮 <input type="checkbox"/> 焦燥感 <input type="checkbox"/> 拒絶		
	<input type="checkbox"/> 無為 <input type="checkbox"/> 意欲低下 <input type="checkbox"/> 幻覚・幻聴 <input type="checkbox"/> 妄想 <input type="checkbox"/> 不安 <input type="checkbox"/> 性的問題		
特に問題となる症状			

II. 家族又は介護者による介護の状況	
介護認定	<input type="checkbox"/> 未申請 <input type="checkbox"/> 申請中 要支援 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II 要介護 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> 非該当
家族状況	<input type="checkbox"/> 独居 <input type="checkbox"/> 夫婦のみ <input type="checkbox"/> 同居() <input type="checkbox"/> 同敷地内()
主介護者	

III. 治療計画			
	短期計画	中期計画	長期計画
認知障害			
生活障害			
行動・心理症状			
総合			

IV. 必要と考えられる医療連携や介護サービス	
<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリ <input type="checkbox"/> 訪問診療 <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 通所介護	
<input type="checkbox"/> 通所リハビリ <input type="checkbox"/> 短期入所 <input type="checkbox"/> 施設入所 <input type="checkbox"/> その他	

V. 緊急時の対応方法・連絡先

VI. 特記事項

※認知症療養指導料は、認知症と診断された方に算定可能です。

説明日 年 月 日

担当医 _____ 相談員 _____

本人又はご家族(介護者)の署名 _____

スキニング必要 沼田市立総合病院 1911認知症療養計画書

県認知症総合対策推進事業(一部抜粋)

相談支援体制の充実

認知症コールセンターの運営。認知症介護経験者が電話相談に対応。2021は年度相談日数146日、相談件数206件。相談日の拡充と広報体制の強化。

認知症の人をみんなで支える地域づくり推進事業

認知症疾患医療センター又は認知症高齢者グループホームが実施。認知症の早期発見や早期対応のため、専門職が地域に出向いて行う相談事業。

見守り・SOS体制の強化

行方不明の恐れのある認知症高齢者等の情報について市町と所管警察署との共有。対象者の事前登録が必要で、2021年4月から全市町で実施。

認知症の人や家族を支える体制整備

チームオレンジやピアサポート活動等の立ち上げ準備から連携体制の構築まで市町を伴走支援する事業。2023年には35市町に設置を目標（現在19市町）。

若年性認知症施策

就労や家事・育児への影響など高齢者の認知症とは異なる課題が生じる。若年性認知症の方及びその家族に対する相談・支援体制の充実を図る。